

演劇・映画の  
専門図書館

# 松竹大谷図書館ニュースレター

■ No. 272(2020年11月) ■

令和 2 年 11 月 10 日発行

≫≫ お知らせ

明治期から戦前までの歌舞伎座の【絵本番付・筋書】をデジタル化・保存するプロジェクト

## 【第9弾】演劇史を紐解く、歌舞伎座の絵本番付と筋書を後世へ。



【第9弾】演劇史を紐解く、歌舞伎座の絵本番付と筋書を後世へ。

支援総額 **3,250,000円** 目標金額 2,500,000円

支援者 260人 募集終了日 2020年10月28日

プロジェクトは成立しました!

成立いたしました!

ご支援・ご協力ありがとうございました!

9月8日より、クラウドファンディング「READYFOR」にて、松竹大谷図書館の令和2年度運営資金及び、明治期から戦前までの歌舞伎座の【絵本番付・筋書】のデジタル化と保存のための費用を募集しておりました

「【第9弾】演劇史を紐解く、歌舞伎座の絵本番付と筋書を後世へ。」プロジェクトが、50日間のスポンサー募集期間を経て10月28日に終了いたしました。

おかげさまでプロジェクト9年目の本年は256名の方より、目標額250万円を大きく上回る、325万円のご支援をいただき、プロジェクトが成立いたしました（※お一人で複数口ご支援くださった方がいらっしゃいましたので、プロジェクトページの支援者数表示260名とは異なります）。

温かなご支援を下された皆様、心強い応援コメントを送って下さった皆様、SNSや様々なメディアで広めて下さった皆様、そしてチラシの配布にご協力下さった皆様、松竹大谷図書館にご支援・ご協力下さいました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

今年は当館も新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、実行前は、プロジェクトを遂行できるのかなど、様々な不安がありました。多くの方にご協力頂いたおかげで、プロジェクトが実行でき、結果多くの方が、この大変な時期に、当館のプロジェクトにご賛同下さり、お力添えを下さいました。皆様からお寄せいただいた、貴重な資料を保存し未来に伝えたいというお気持ち、そして何より演劇と映画の資料を愛するお気持ちを胸に、これからもさらに、当館が所蔵する貴重な資料の整理・保存に努めて、より活用出来る環境を整えていくため、スタッフ一同頑張っております。

くわしくは、下記のURL または右の

QRコードからプロジェクトページをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan9>

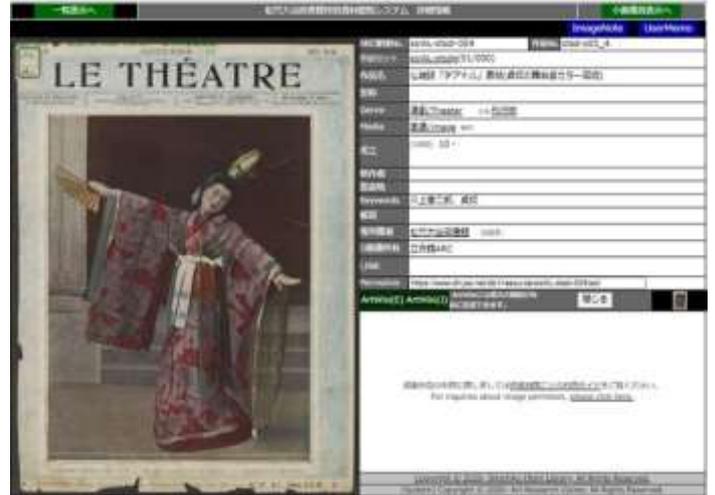
★公式 Facebook でも情報発信しております!

<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



## ■音貞アルバムデータベースを公開致しました

2018年に実行したクラウドファンディング【第7弾】のご支援により、約120年前に作られた「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料アルバム(通称【音貞アルバム】)」の保存とデジタルアーカイブ化に取り組んでおりましたが、このほど、【第7弾】の成果として、この【音貞アルバム】の全画像が閲覧できる《松竹大谷図書館特別資料閲覧システム》を公開しました。この閲覧システムのデジタル画像の撮影は株式会社インフォーマージュが、またシステムの開発及び公開は、松竹大谷図書館と立命館大学アート・リサーチセンターとの間で結ばれた協定に基づき、アート・リサーチセンターが行っています。当館HPトップページの【利用案内】「貴重書」検索・閲覧サービスにもリンクを貼っています。



▽《松竹大谷図書館特別資料閲覧システム》はこちら

[https://www.dh-jac.net/db1/resource/search\\_sol.php](https://www.dh-jac.net/db1/resource/search_sol.php)

▽ご利用ガイドはこちら

[https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/pdf/20201022\\_01.pdf](https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/pdf/20201022_01.pdf)

▽システムの詳しいご利用方法はこちら(第7弾新着情報「音貞アルバムデータベースを公開致しました」)

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan7/announcements/147647>

## 第84回所蔵資料展示 「高峰秀子」展

展示期間:2020/10/30~12/24/於 閲覧室

11-12月の閲覧室ミニ展示は、「高峰秀子」展です。1929年に5歳でデビューして以来、引退作の『衝動殺人 息子よ』(1979年)まで半世紀にわたり、第一線で活躍し続けた女優、高峰秀子。本年は没後10年にあたります。

1924年3月27日北海道函館に生まれた高峰秀子は、4歳のとき母親が逝去、父の妹の養女となり、東京に移り住みます。1929年、養親の知人の松竹蒲田俳優のつてにより、松竹蒲田撮影所へ養父と見学に行き、ちょうど子役のオーディションが開催されていたため飛び入り参加したところ、見事採用され「高峰秀子」の芸名で野村芳亭監督の『母』に出演、これが映画デビュー作となりました。当時、松竹蒲田撮影所は開所して9年目で、まだ無声映画の時代でした。以来人気子役として、小津安二郎監督の『東京の合唱』(1931年)など多くの映画に出演しました。また、新派の舞台にも出演したことがあり、1932年4月明治座「新派幹部総動員興行」において名立たる新派の名優たちと共演しています。1937年、東宝の前身のP.C.Lに移り、山本嘉次郎監督の『綴方教室』(1938年)などの少女役で人気を集め、“デコちゃん”の愛称で親しまれるようになります。20代となった戦後は演技派女優として活躍。特に、成瀬巳喜男監督と木下恵介監督、ふたりの名匠の作品が代表作としてあげられ、夫の松山善三監督の『名もなく貧しく美しく』(1961年)など、夫婦共作の映画も多く世に送り出しています。また、エッセイストとしても著名であり、多くの文章を残しています。1979年、『衝動殺人 息子よ』の撮影中、高峰秀子は“女優廃業”を宣言。これが引退作となりました。引退後は主に著述業や講演などで活躍し、1994年には、初めての脚本をTVドラマ『忍ばずの女』で執筆、1999年6月に明治座で舞台化された際にも脚本を担当しました。



図書「巴里ひとりある記」  
高峰秀子著/6か月にわたって滞在したパリでの日々を綴った初めての著作。装幀と挿画も自身によるもの

今回は子役時代の貴重な資料と共に、スチール写真、プレスシート、プログラム、脚本を担当した演劇台本などの資料を展示します。

**※現在、入館は前日までの予約制となっております。展示をご覧になる場合も、ご予約の上ご来館下さい。**

松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時~16時)

【展示資料一覧】(◆印はスチール写真)《展示ケース上段》雑誌「蒲田週報」187号(1929年10月20日) ●表紙にデビュー作『母』掲載/『東京の合唱』◆1931年松竹蒲田,小津安二郎(監督)/「高峰秀子」ポートレート◆昭和10~20年頃か? /『銀座カンカン娘』◆1949年新東宝,島耕二(監督)/『細雪』◆1950年新東宝,阿部豊(監督)/『宗方姉妹』◆1950年新東宝,小津安二郎(監督)/『カルメン故郷に帰る』◆1951年松竹大船,木下恵介(監督)/『雁』◆1953年大映東京,豊田四郎(監督)/『女の園』◆1954年松竹大船,木下恵介(監督)/プレスシート『二十四の瞳』1954年松竹大船,木下恵介(監督)/『妻の心』◆1956年東宝,成瀬巳喜男(監督)/『流れる』◆1956年東宝,成瀬巳喜男(監督)《展示ケース下段》『喜びも悲しみも幾歳月 第一部第二部』◆1957年松竹大船,木下恵介(監督)/『張込み』◆1958年松竹大船,野村芳太郎(監督)/『名もなく貧しく美しく』◆1961年東京映画,松山善三(監督) ●ロケスナップ写真/『山河あり』◆1962年松竹大船,松山善三(監督)/『二人で歩いた幾春秋』◆1962年松竹大船,木下恵介(監督)/『ひき逃げ』◆1966年東宝,成瀬巳喜男(監督)/雑誌「新映画」1950年9月号 表紙:高峰秀子/プレスシート『我が家は楽し』1951年松竹大船,中村登(監督)/プログラム『無法松の一生』1958年東宝,稲垣浩(監督)/プログラム『女が階段を上る時』1960年東宝,成瀬巳喜男(監督)/プログラム『衝動殺人 息子よ』1979年松竹+東京放送,木下恵介(監督)/演劇台本『忍ばずの女』1999年6月明治座上演,高峰秀子(脚本),石井心く子(演出)/[複製展示]プログラム,雑誌「演芸画報」新派幹部総動員興行1932年4月明治座

» 資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2020年8月-9月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、演劇出版社、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)、国立劇場、文学座、シナリオ・センター、キネマ旬報社、一般社団法人日本民間放送連盟、新国立劇場情報センター、中村耄太郎、株式会社カモミール社テアトロ編集部、神戸女子大学古典芸能研究センター、樽松大剛、帝国劇場、御園座演劇図書館、(株)近代映画社、文京ふるさと歴史館、有限会社読書工房、東宝株式会社映像事業部、公益社団法人日本劇団協議会、銀座百店会、仙田容子、花柳茂香、劇団俳優座、丸善出版株式会社、邦楽の友社、黒澤明研究会会誌、神奈川県演劇連盟、おとなのデジタルTVナビ編集部、株式会社日本舞踊社、愛知芸術文化センター、有限会社合同通信社、日本映画テレビプロデューサー協会、銀座 博品館劇場、墨染会、劇団民藝、シアタークリエ、安孫子正、国立映画アーカイブ、大矢芳弘、三好直樹、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、株式会社セクターエイティエイト KENSYO 編集部、公益社団法人日本演劇協会、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場

どうもありがとうございました

» 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系10月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『銘作左小刀 京人形』	○	○	○	○
	『双蝶々曲輪日記 角力場』	○	○		
	『梶原平三蒼石切』	○	○		
	『口上』/『楊貴妃』	○	○		
新橋演舞場	『滝沢歌舞伎 ZERO 2020 The Movie』特別上映				○
	『虎者 NINJAPAN 2020』				○
松竹座	『紅ゆずる トークショー in 大阪松竹座』				
	『GOEMON 抄』				
南座	『滝沢歌舞伎 ZERO 2020 The Movie』特別上映				
御園座	『鐘ヶ岬』			○	
	『解説 歌舞伎のみかた』	○			
	『連獅子』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料(8-10月) ■ (順不同)

シス・カンパニー『あなたの目』新国立劇場小劇場プログラム/serial number『All My Sons』シアタートラムプログラム/五反田団『いきしたい』こまばアゴラ劇場プログラム/エーシーオー沖繩『島口説』青年劇場スタジオ結プログラム/『真夏の夜の夢』東京芸術劇場プレイハウスプログラム/『第6回あべの歌舞伎 晴の会』近鉄アート館プログラム/『大阪文化芸術 FES 歌舞伎特別公演』COOL JAPAN PARK OSAKA TT ホールプログラム/『市川猿之助・藤間勘十郎 春秋座花形舞踊公演』春秋座プログラム/『イヌビト』新国立劇場中劇場プログラム/名取事務所『獣の時間/少年Bが住む家』下北沢小劇場 B1 プログラム、台本/ミュージカル『アルジャーノンに花束を』博品館劇場プログラム/『Gang Showman』シアタークリエプログラム/『おかしな二人』シアタークリエプログラム/『十二人の怒れる男』シアターコクーンプログラム/『こども歌舞伎スクール寺子屋成果披露公演』歌舞伎座稽古場プログラム/『国立劇場10月歌舞伎公演』国立劇場大劇場プログラム/『第213回文楽公演』国立劇場小劇場プログラム、床本/『文楽入門』国立劇場小劇場プログラム

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『キーパー ある兵士の奇跡』	○	○	○		

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■ (順不同)

『博士と狂人』『パピチャ 未来へのランウェイ』『空に住む』『ミッドサマー』『82年生まれ、キム・ジョン』『罪の声』『ストレイ・ドッグ』『オレたち応援屋!!』『朝が来る』『きみの瞳が問いかけている』『とんかつDJアゲ太郎』『十二単衣を着た悪魔』『ジオラマボーイ・パノラマガール』

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2020年NOVEMBER/『JPL』No.78/『omoshii PRESS オモシイ・プレス』Vol.9/『the座』105号/『あぜくら』2020年10月号/『こてん』2020年11月23号/『ほうおう』2020年12月号/『テアトロ』2020年11月号/『ラ・アルプ』2020年11月号/『演劇界』2020年12月号/『喝采』2021年11月臨時号、1月/『芸劇BUZZ』2020年10月-11月-12月号/『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol.31/『国立演芸場公演ガイド』令和2年11月号/『日本芸術文化振興会ニュース』2020年11月号/『日本舞踊』72巻11月号/『悲劇喜劇』2020年7月号、9月号/『邦楽の友』令和2年9月-10月合併号

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2020年12月号/『NFAJ ニュースレター』10号/『NFAJ プログラム』No. 23, No. 24/『SCREEN』2020年12月号/『TVガイド』2020年10/9号, 10/16号, 10/23号, 10/30号, 11/6号/『おとなのデジタルTVナビ』2020年12月号/『キネマ旬報』2020年11月上旬号, 11月下旬号/『シナリオ』2020年12月号/『シナリオ教室』2020年11月号/『シネビ・エイジ』No. 686, No. 687, No. 689/『ドラマ』2020年11月号/『ピクトアップ』2020年12月号/『ムービータイムス』7012号, 7014号, 7027号-7031号, 7035号-7038号, 7041号, 7042号/『映画テレビ技術』2020年11月号/『映画ビジネス』1186号, 1210号-1212号, 1214号, 1216号, 1218号, 1219号, 1221号-1225号/『映画秘宝』2020年12月号/『日経エンタテインメント!』2020年11月号/『文化通信ジャーナル』2019年7月号, 2020年3月号, 6月号-9月号

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■ (順不同)

『人名作人形浄瑠璃』『豊竹團司の一世紀 世界最長芸歴エンターテイナー』『女殺油地獄・出世景清』『曾我會稽山・心中天の網島』『田中澄江の心中天の網島』『国性爺合戦・鐘の権三重帷子』『近松世話物集』『近松門左衛門集 (完訳日本の古典)』『赤川次郎の文楽入門 人形は口ほどにものを言い』『三毛猫ホームズの文楽夜嘯』『文楽のツボ』『人形芝居雑話』『文楽・女方ひとすじ おつるから政岡まで』『西鶴への招待』『大寺学校・ゆく年』

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 現在ご支援いただいている方々 (了承を得た方のみ掲載) 2020(令和2)年10月にご支援いただきました法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座	松竹音楽出版株式会社
歌舞伎座サービス株式会社	松竹芸能株式会社
歌舞伎座舞台株式会社	株式会社松竹サービスネットワーク
有限会社合同通信社	松竹ブロードキャスティング株式会社
松竹株式会社	株式会社松竹マルチプレックスシアターズ
松竹衣裳株式会社	
株式会社松竹映像センター	

どうもありがとうございます

■■■■ 松竹大谷図書館は予約制での開館を継続しております ■■■■

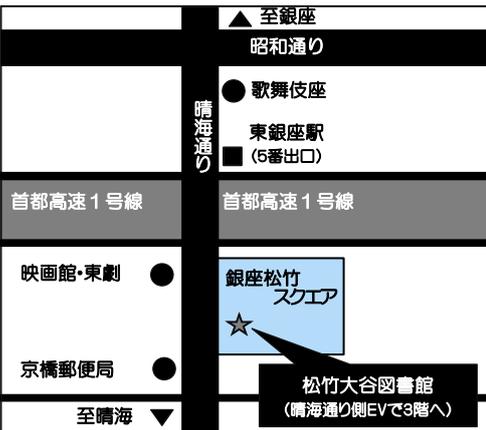
当館は6月1日(月)より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます。

《ご利用について》 ●開館時間:平日 10:00~16:00(短縮しております)

●ご来館前日までにお電話でのご予約をお願い致します

Tel:03(5550)1694(平日 10:00~16:00)

今後、開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしく願い申し上げます。



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / Tel. 03-5550-1694  
 公式HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>  
 公式Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



●利用案内●

【開館時間】平日午前10時~午後4時(短縮しております) / 【休館日】土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します / 【閲覧】館内閲覧のみ / 【入館料】無料 / 【コピーサービス】A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります

●資料検索●

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

●交通案内●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分  
 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分